令和8年度市民意識調査結果の概要について

別紙

令和8年度の回収率は53.3%で、前年度より0.8ポイント増加し、2年連続で50%を上回った。
インターネットで回答した人は584人で、全体の36.5%で、前年度より7.1ポイント増加した。

調査の回収結果

報告書 p1

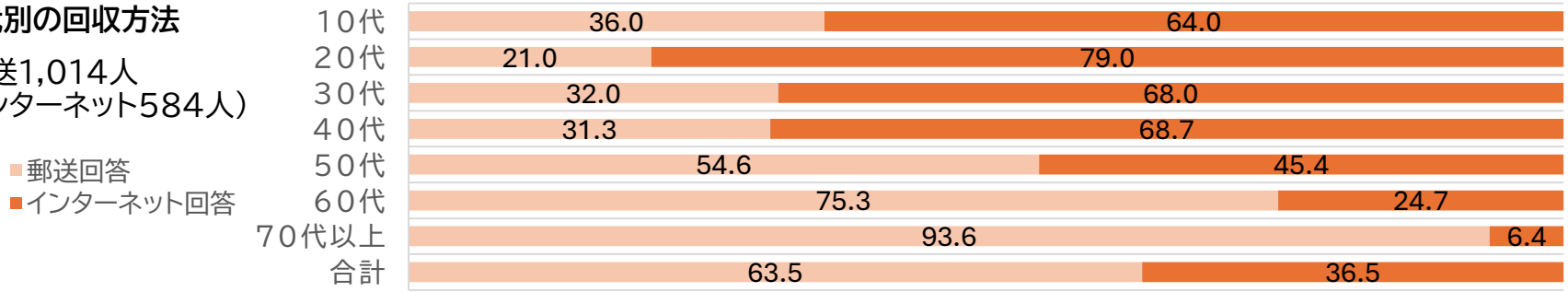
有効回収数:1,598人／3,000人　回収率:53.3%　＋前年度比0.8ポイント増
インターネット回答数:584人（インターネット回答の割合:36.5%　＋前年度比7.1ポイント増）

○ 年代別送付数及び回収率

		10代（18～19歳）	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
送付	（人）	66	337	329	396	563	431	878		3,000
回収	（人）	25	105	156	195	315	283	502	17	1,598
回収率（%）		37.9	31.2	47.4	49.2	56.0	65.7	57.2		53.3
前年度回収率（%）		28.8	26.1	46.2	47.3	54.5	63.2	58.5		52.5

○ 年代別の回収方法

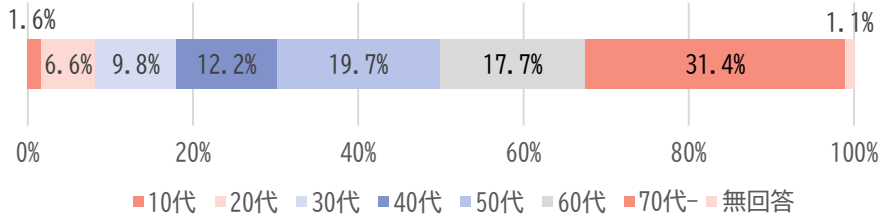
（郵送1,014人/インターネット584人）



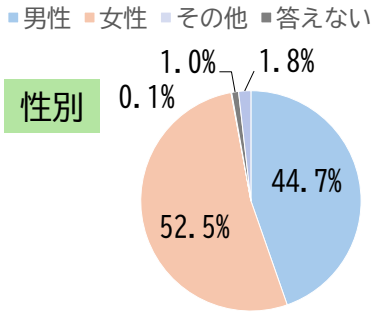
回答者の属性

報告書 p2～3

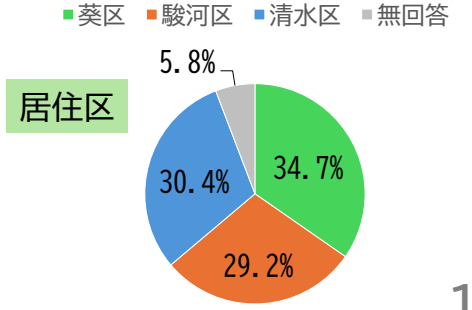
年代



性別



居住区



市民満足度などの経年比較について

○市民意識調査では、静岡市第5次総合計画のKPIや分野計画の主な指標としている「市民満足度」について、経年比較を行い市民の評価の変化を確認している。

○令和7年度－令和8年度の継続質問は9問で、
そのうち、令和7年度と比較したところ、増加した項目は4件、減少した項目は5件であった。

＜前年度比 2.0ポイント以上増加した質問＞

問７「働きやすいまちであると思いますか」	＋10.8ポイント
問８「子育てしやすいまちだと思いますか」	＋10.0ポイント
問５「身近に文化芸術等が感じられるまちだと思いますか」	＋14.8ポイント

文化芸術とは、音楽・美術・演劇、映画・マンガ・アニメーションなどのメディア芸術、伝統芸能、食文化などの生活文化等を幅広く指します。（※）

※令和8年度は、設問の意図をわかりやすく伝えるため「文化芸術」という言葉の定義について補足説明を追加した。

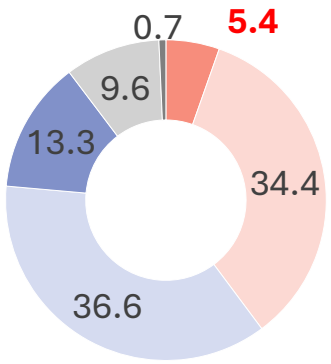
＜前年度比 2.0ポイント以上減少した質問＞

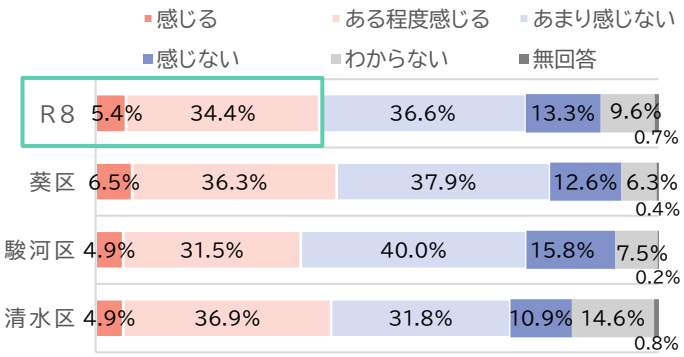
問３「活気があり、人をひきつける魅力があるまちだと感じますか」	－7.9ポイント
問１「静岡の中心市街地に、にぎわいや魅力を感じますか」	－5.3ポイント
問４「住民が互いに声をかけ合い、助け合う暮らしやすいまちだと思いますか」	－2.0ポイント

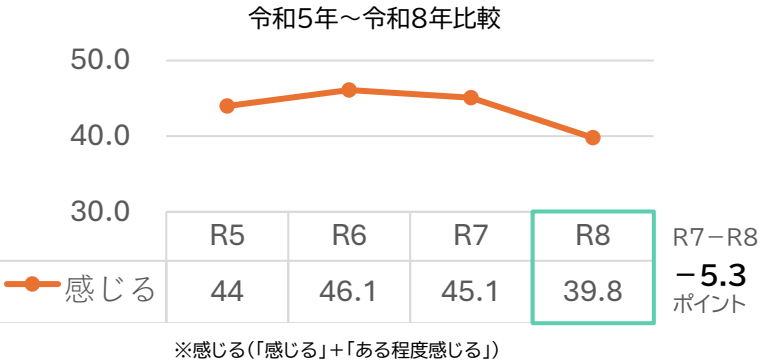
※市民意識調査では、調査のたびに回答者数の違いから、結果に「一定の差」が生じる。
そこで、小さな差に注目しすぎないよう、前年度から2.0ポイント以上増減した項目を示した。

問1　静岡の中心市街地に、にぎわいや魅力を感じますか。（○は1つ）

報告書 p11~12





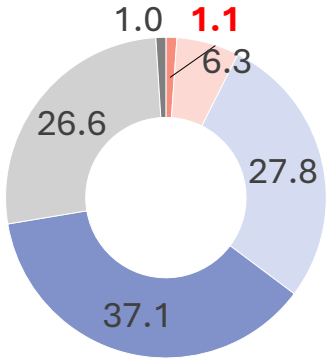


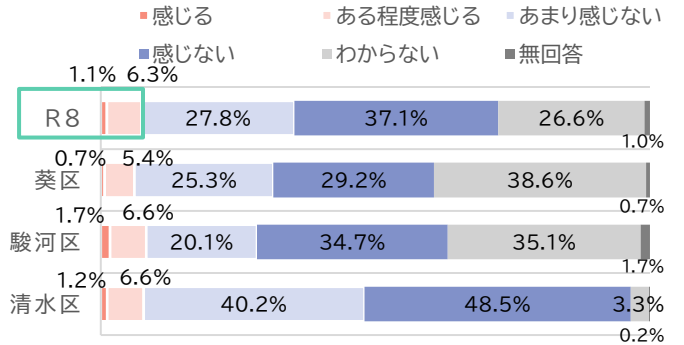
	R5	R6	R7	R8	R7−R8
感じる	44	46.1	45.1	39.8	−5.3 ポイント

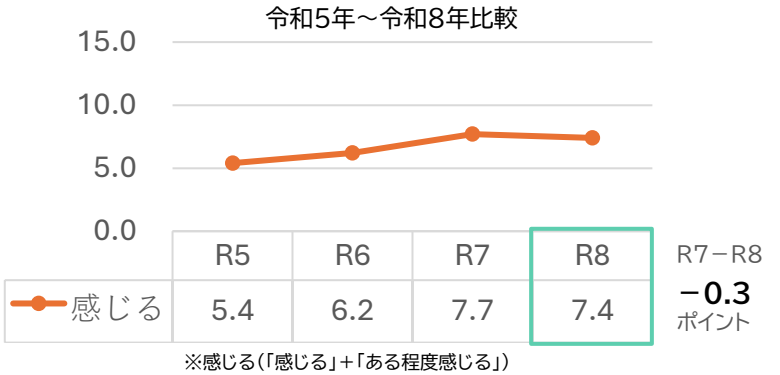
※感じる（「感じる」+「ある程度感じる」）

問2　清水の中心市街地に、にぎわいや魅力を感じますか。（○は1つ）

報告書 p13~14





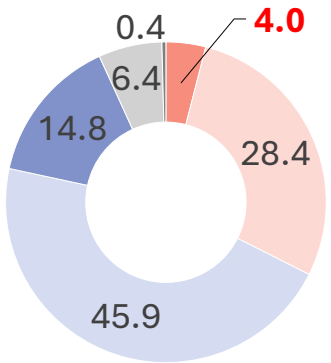


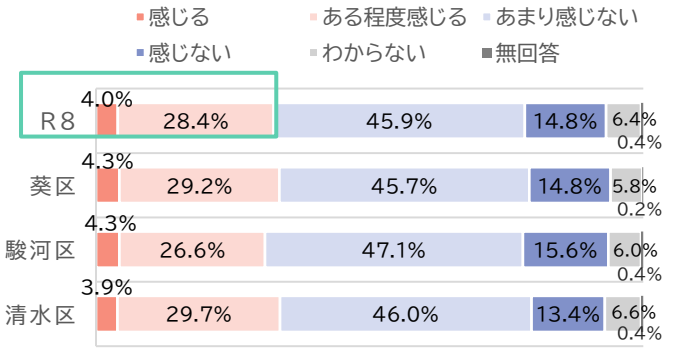
	R5	R6	R7	R8	R7−R8
感じる	5.4	6.2	7.7	7.4	−0.3 ポイント

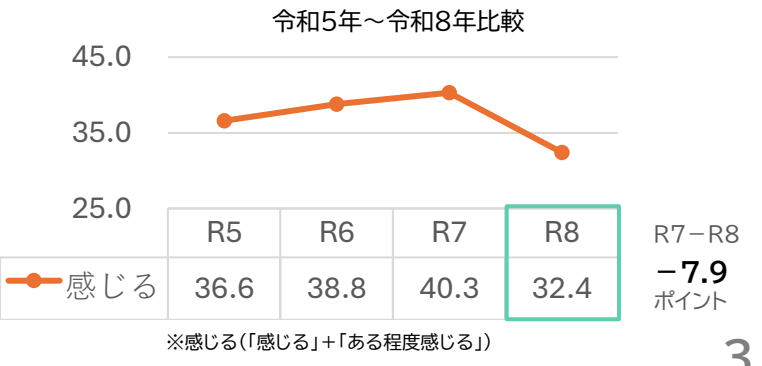
※感じる（「感じる」+「ある程度感じる」）

問3　静岡市は活気があり、人をひきつける魅力があるまちだと感じますか。（○は1つ）

報告書 p15~16





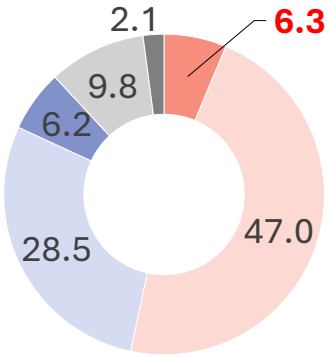


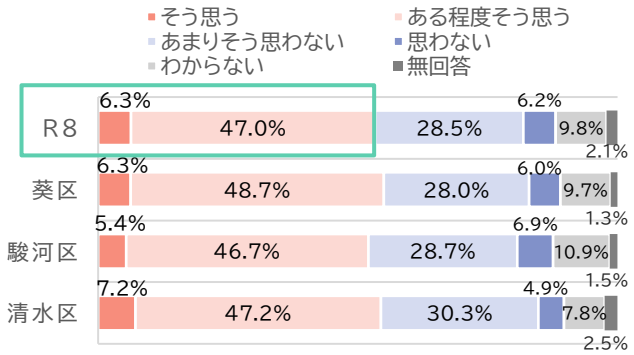
	R5	R6	R7	R8	R7−R8
感じる	36.6	38.8	40.3	32.4	−7.9 ポイント

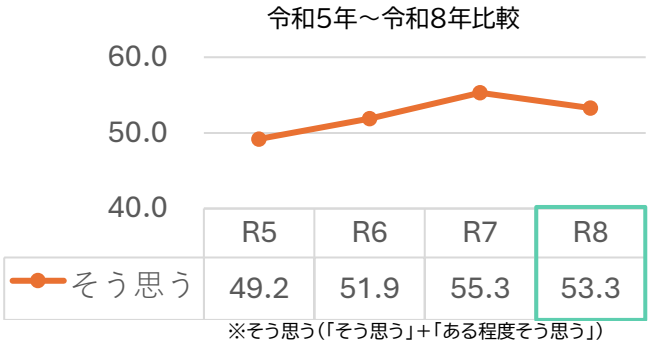
※感じる（「感じる」+「ある程度感じる」）

問4　静岡市は、互いに声をかけ合い、助け合う暮らしやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

報告書 p31~32



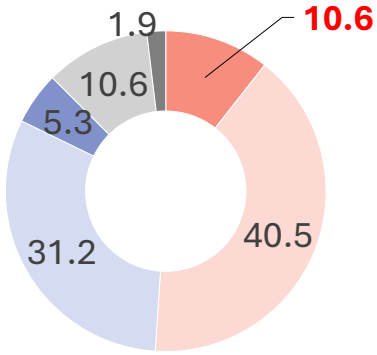


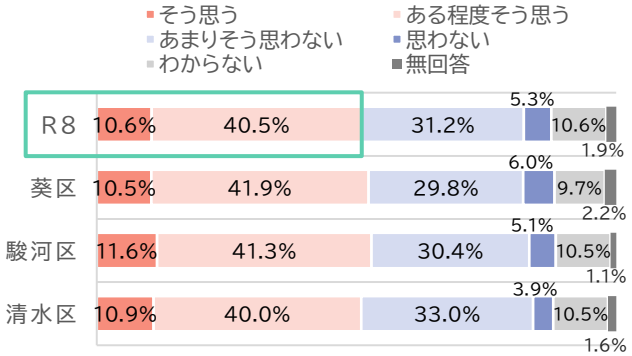


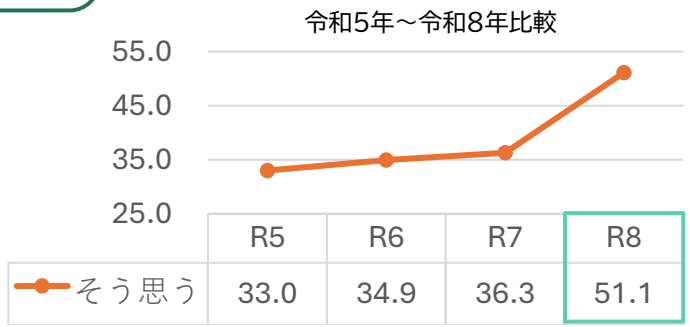
※そう思う（「そう思う」+「ある程度そう思う」）

問5　静岡市は、身近に文化芸術等が感じられるまちだと思いますか。（○は1つ）

報告書 p68~69



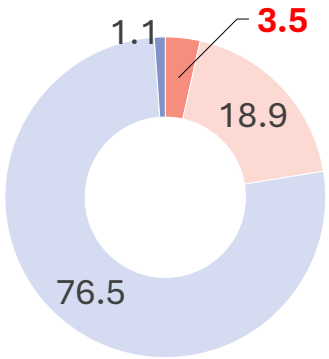


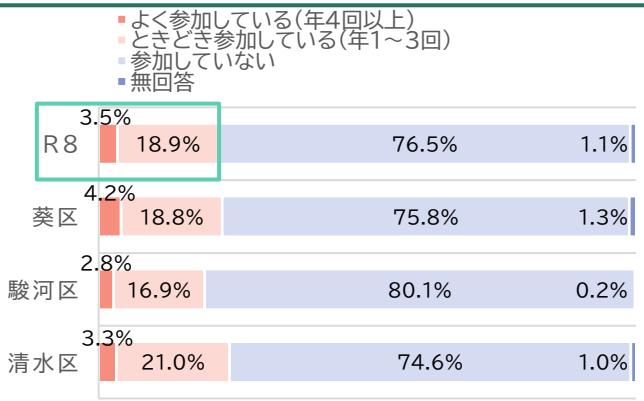


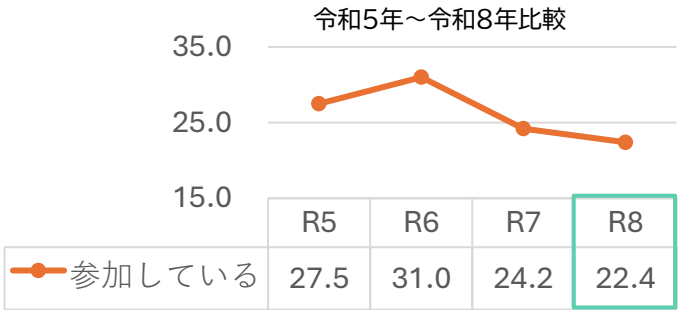
※そう思う（「そう思う」+「ある程度そう思う」）

問6　この1年間に環境に関するボランティア活動に参加しましたか。（○は1つ）

報告書 p78~79



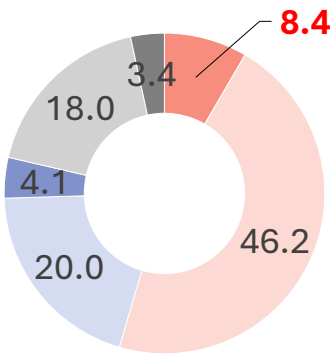


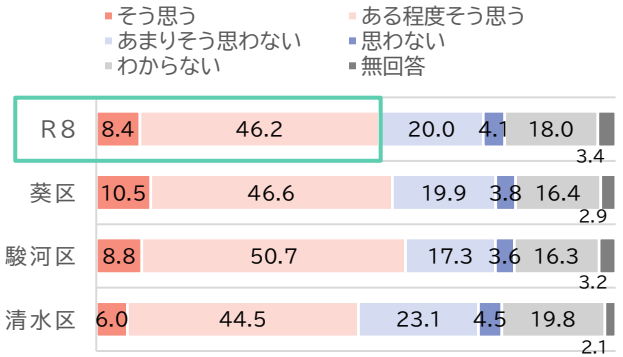


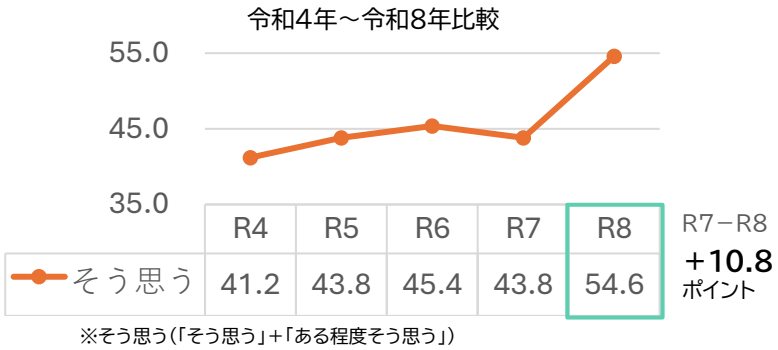
※参加している（「よく参加している」+「ときどき参加している」）

問7　静岡市は働きやすいまちであると思いますか。（○は1つ）

報告書 p117~118



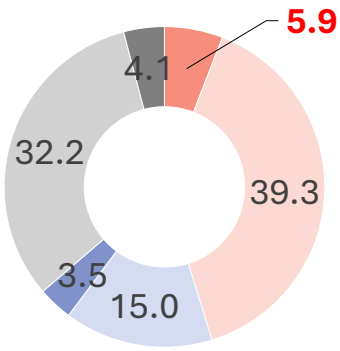


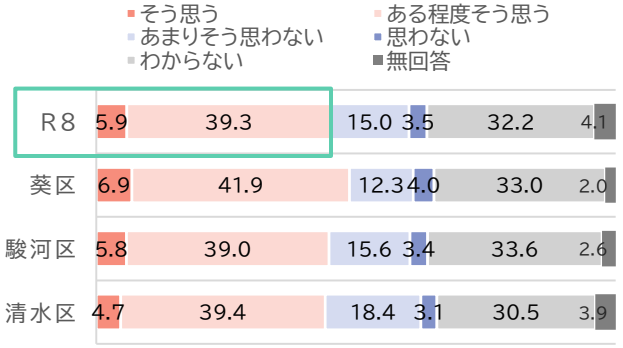


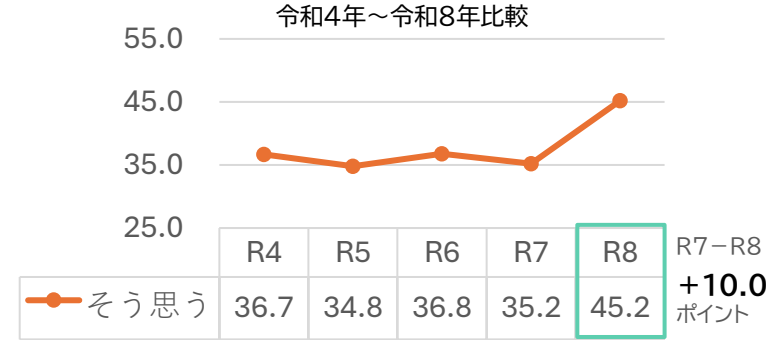
※そう思う（「そう思う」+「ある程度そう思う」）

問8　静岡市は、子育てしやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

報告書 p132~133



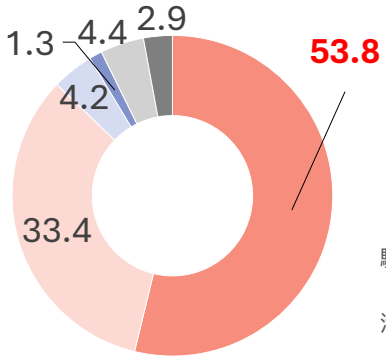


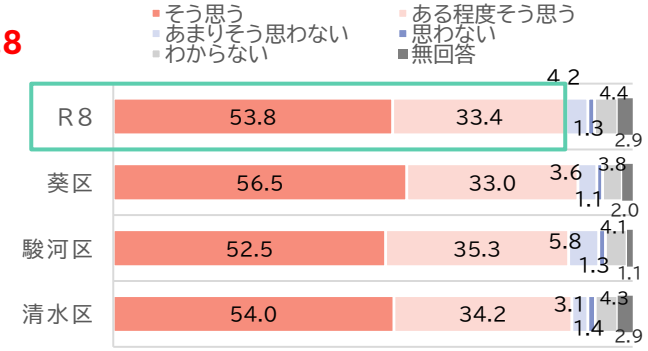


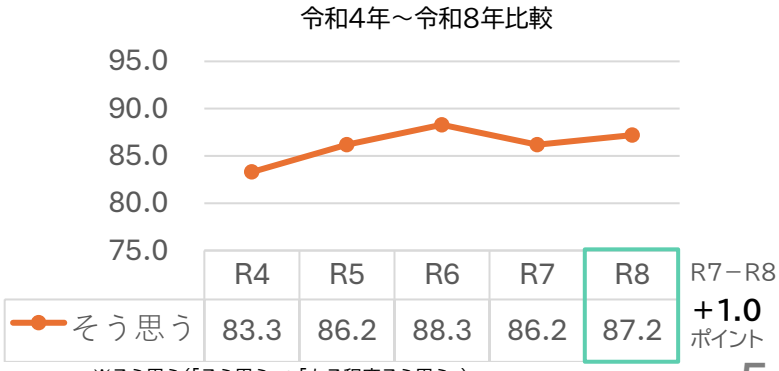
※そう思う（「そう思う」+「ある程度そう思う」）

問9　これからも静岡市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

報告書 p150~151







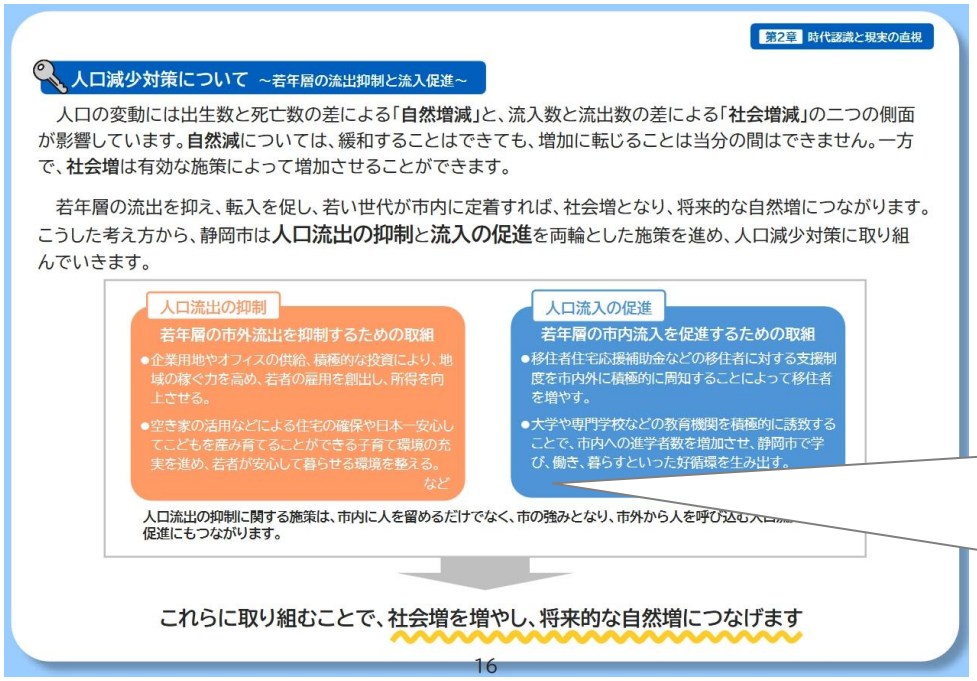
※そう思う（「そう思う」+「ある程度そう思う」）

住みやすさ、働きやすさ、子育てしやすさの集計結果について

① これまで毎年実施している市民意識調査では、市民の満足度や個別施策への評価は把握できるものの、その評価の理由や、経年比較した際になぜ満足度が変化したのか理由を把握することが難しかった。

② 静岡市は第5次総合計画の基本計画において、人口流出の抑制に資する取組として、「雇用の創出」や「住宅の確保」、「子育て環境の充実」に取り組むこととしている。

静岡市第５次総合計画*基本計画p. 16



人口流出の抑制
若年層の市外流出を抑制するための取組
- 企業用地やオフィスの供給、積極的な投資により、地域の稼ぐ力を高め、若者の**雇用を創出し**、所得を向上させる。
- **空き家の活用などによる住宅の確保**や**日本一安心してこどもを生み育てることができる子育て環境の充実を進め**、若者が安心して暮らせる環境を整える。

①・②から、令和8年度の市民意識調査では、住みやすさ、働きやすさ、子育てしやすさの3点について例年の満足度に加え、新たに満足度の具体的な理由を聞く質問を設け、回答結果の分析を行った。
今後も継続して聞くことで、満足度が変化した理由を把握していく。

1．住みやすさ

報告書 p95~116

問「静岡市は住みやすいまちであると思いますか。」

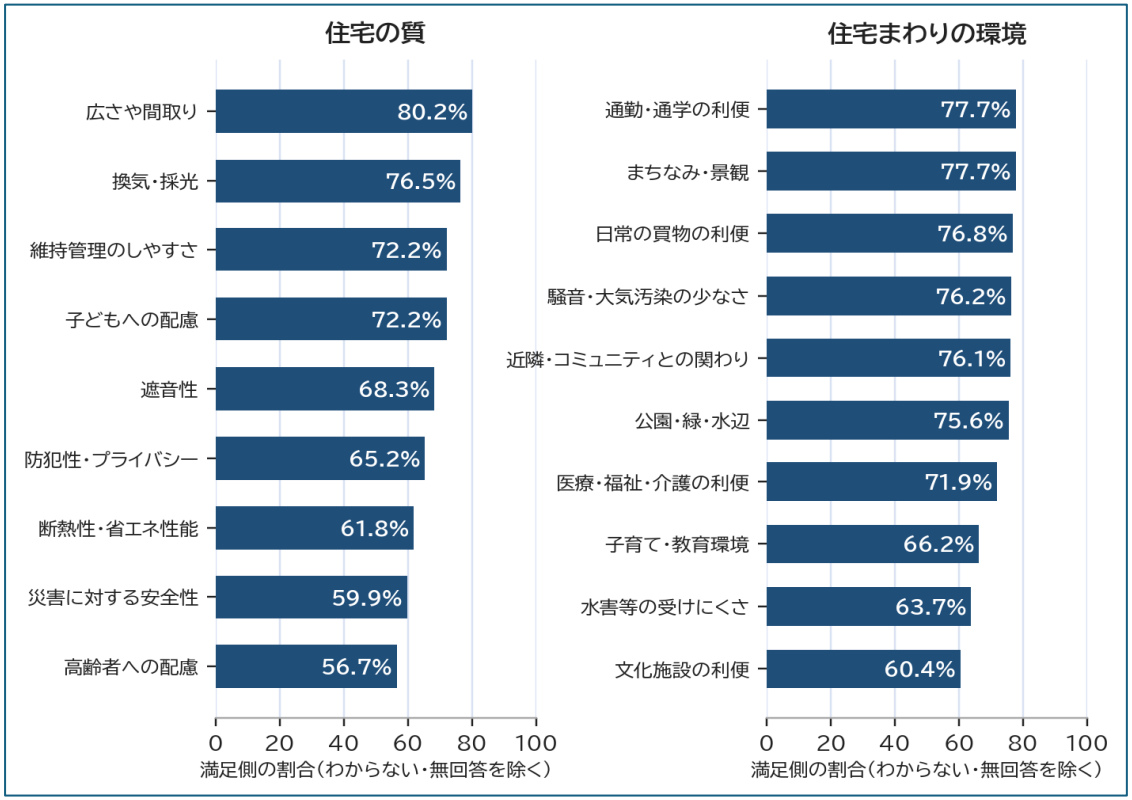
基本的な結果	肯定率	肯定数／評価回答数	「わからない」・無回答
静岡市は住みやすいまちである	88.7%	1,372人/1,547人	51人（3.2%）

※肯定率は、「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計を、「わからない」および無回答を除いた回答者数で除して算出している。
国の世論調査でも使われる割合で、この割合から、評価を示した回答者の中で、肯定的な評価がどの程度を占めるかを把握する。
3～5ページでは全回答者を対象に割合を算出しているのに対して、7～9ページでは肯定率であるため同じ項目でも割合が異なる。（以下同様）

問「あなたは、全体として、現在のお住まいに満足していますか。」

基本的な結果	肯定率	肯定数／評価回答数	「わからない」・無回答
現在の住まいに満足している	85.0%	1,313人/1,544人	54人（3.4%）

○ 項目別の満足度　問「あなたは「住宅の質」・「住宅まわりの環境」に満足していますか」



現在の住まいについて、
「住宅の質」と「住宅まわりの環境」に分けて満足度を聞き、どの項目の評価が高い・低いか確認した

住宅の質については、
「広さや間取り」が80.2%で最も高く、
「高齢者への配慮」56.7%、「災害に対する　安全性」59.9%、「断熱性・省エネ性能」61.8%が低い結果となった。

住宅まわりの環境では、
「通勤・通学の利便」と「まちなみ・景観」がともに77.7%で高く、「文化施設の利便」60.4%、「水害等の受けにくさ」63.7%が低い結果となった。

全体的に「住みやすさ」への満足度は高い一方、災害への安全性や高齢者への配慮など、安心して長く住むための条件には低い評価が見られた。

2．働きやすさ

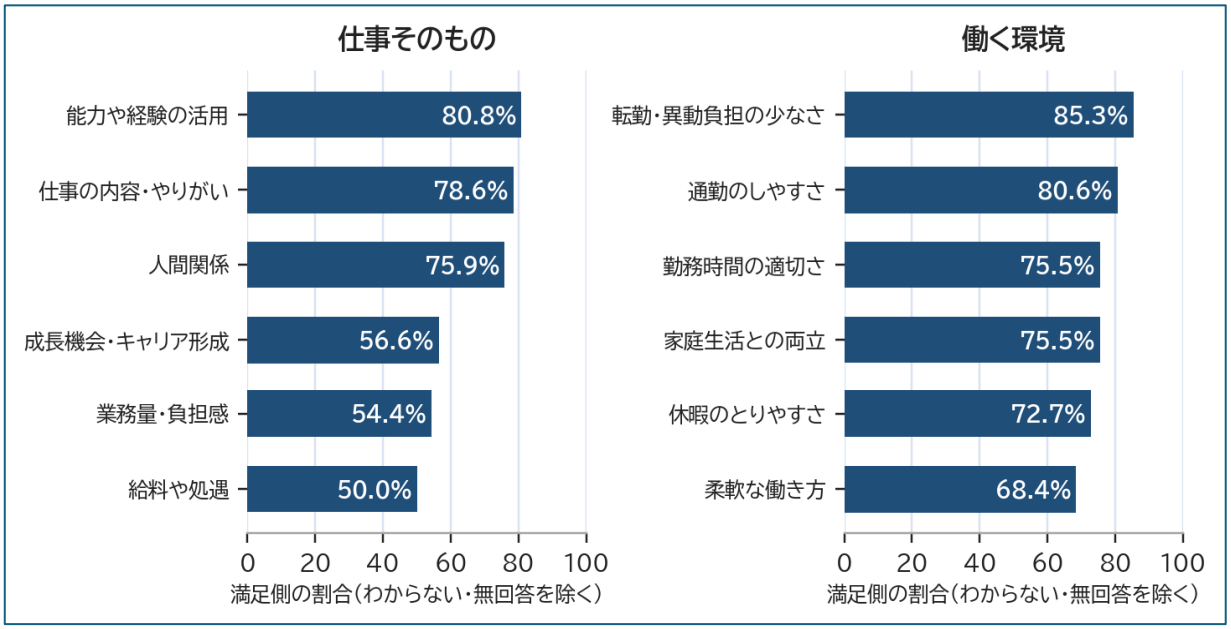
報告書 p119~131

問「静岡市は、働きやすいまちであると思いますか。」

基本的な結果	肯定率	肯定数／評価回答数	「わからない」・無回答
静岡市は働きやすいまちである	69.4%	872人/1,257人	341人（21.4%）

○ 項目別の満足度　問「あなたは、現在の仕事に満足していますか。」、「働く環境に満足していますか」

現在、仕事をしていると回答した979人（就労状況の回答者1,561人の62.7%）の集計結果



現在の仕事について、「仕事そのもの」と「働く環境」に分けて満足度を聞き、項目別の評価の特徴を確認した。

・仕事そのものでは、「能力や経験の活用」80.8%、「仕事の内容・やりがい」78.6%が高い一方、「給料や処遇」50.0%、「業務量・負担感」54.4%が低くなっている。

・働く環境では、「転勤・異動の負担の少なさ」85.3%、「通勤のしやすさ」80.6%が高く、「柔軟な働き方」68.4%が最も低い結果となった。

3．子育てしやすさ

報告書 p132~149

問「静岡市は、子育てしやすいまちだと思いますか。」

基本的な結果	肯定率	肯定数／評価回答数	「わからない」・無回答
静岡市は子育てしやすいまちである	71.0%	723人/1,019人	579人（36.3%）

○子育て環境の満足度と重要度　問「子育て環境の満足度（充実度）について当てはまるものを選んでください」 問「子育て環境の重要度について当てはまるものを選んでください」

子育て環境には、保育サービスや経済的支援、公園の整備など、市の具体的な取組と結び付けて改善を検討しやすい項目が多いと考えたため、現在の満足度に加えて重要度も聞くことにした。

市民が重要と考えているものの現在の満足度が低い（重要であるが不満）取組をみることで、改善の優先順位が高いと考えられる項目を把握する。

項目（満足度の高い順）	重要度	満足度（充実度）	重要度と満足度の差（ポイント）
保育サービスが整備されている	97.1%	75.8%	21.3
学校教育・学習環境が整っている	96.4%	70.9%	25.5
産婦人科や小児科での医療が受けられる環境が整っている	97.5%	62.0%	35.5
子育てに対して勤務先・職場の理解・協力が得られやすい	96.8%	62.0%	34.8
子育て世帯への経済的支援が充実している	93.4%	61.7%	31.7
交通安全・防犯により、こどもの安全が確保されている	97.5%	59.5%	38.0
妊娠・出産・子育てに関する相談支援体制が整備されている	95.8%	59.3%	36.5
こどもが安心して遊べる公園・遊び場が確保されている	93.1%	52.1%	41.0

※重要度・満足度は、それぞれ「わからない」・無回答を除き、肯定的な評価をした人の割合。差は「重要度－満足度」で算出した。

- 重要度は全項目で93.1～97.5%と、いずれの項目も高い結果であった。
- 満足度は「保育サービス」75.8%、「学校教育・学習環境」70.9%が高く、一方で、「公園・遊び場の確保」52.1%、「相談支援体制の充実」59.3%、「交通安全・防犯」59.5%が低い結果であった。
- 重要度と満足度（充実度）との差をみると、「公園・遊び場」41.0ポイント、「交通安全・防犯」38.0ポイントなどで差が大きくなっており、これらの項目については、市民に重要と考えられているものの、現在の満足度は相対的に低い傾向が見られた。